

第27回 腸内細菌学会学術集会

発表演題募集・プログラム

メインテーマ

マイクロバイオーーム研究の フロントライン

～分野の垣根を越えて未踏の大地へ～

開催日

2023年

6月27^火日 » 28^水日

会場

タワーホール船堀

東京都江戸川区船堀 4-1-1

大会長

長谷 耕二 (慶應義塾大学)

事前登録費

3/1 ~ 6/5 会員 8,000 円 一般 12,000 円 学生会員 1,000 円 学生(一般) 2,000 円

当日参加費

会員 9,000 円 一般 13,000 円 学生会員 1,500 円 学生(一般) 2,500 円

(要旨集：個人会員・一般・学生無料配布、当日別売 2,000 円)



一般演題（若手ワークショップ、ワークショップ）申込要領

本年度より一般演題は若手ワークショップ、ワークショップ形式で発表されることとなりました。若手ワークショップでは口頭発表に加えポスター発表をしていただきます。ワークショップは原則的に口頭発表となりますが、登録演題数に応じて、一部ポスター発表となることをご了承ください。

腸内細菌をはじめとする腸内微生物の生態、分類および機能・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください（メインテーマと関連がなくても結構です）。若手研究者・新規研究者の発表の場として非会員にも開放しております。

本大会の一般演題は、大会1日目午前中に【若手ワークショップ】（8分程度の口頭発表 [質疑応答含む]）と、【ワークショップ】（13分程度の口頭発表 [質疑応答含む]）を2つの会場で並行して行う予定です。若手ワークショップは口頭発表に加え同日午後のポスター発表もあり、若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎致します。なお、若手ワークショップの中から本学会選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」（表彰状および副賞）が贈られます。

① 申込方法 ・抄録用原稿をE-Mailにてお送りください。メール本文には「ワークショップでの発表希望」など、どの演題希望なのかを必ず明記してください。

② 作成要領

❗ 抄録用原稿および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け、成分名、一般名等にて記載ください。

若手ワークショップ

- ・ 2023年6月27日現在で30歳以下の方を対象とします。
- ・ 抄録用原稿は、第27回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット（Wordファイル）をダウンロードして作成してください。
- ・ 抄録の長さはA4 1枚以内とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・ 本文の長さは和文1,000文字または英文550ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・ 締切：2023年1月31日（火）必着にて下記事務局までお送りください。

和文タイトル
英文Title

○腸内太郎¹，腸内花子²
¹腸内大学研究所，²株式会社 腸内細菌

【目的】…

【方法】…

【結果】…

【考察】…

2023年1月31日(火)まで

ワークショップ

- ・抄録用原稿は、第27回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット（Wordファイル）をダウンロードして作成してください。
- ・抄録の長さはA4 1枚以内とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・本文の長さは和文1,000文字、または英文550ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・締切：2023年1月31日（火）必着にて下記事務局までお送りください。

③ 発表時間

若手ワークショップ 6月27日（火） 小ホール（予定）

大会第1日目午前中のセッションでの口頭発表（5分発表+3分質疑応答）と同日午後にその講演のポスター発表（60分程度）になります。

※学会開催期間中に最優秀発表賞の発表を行います。

ワークショップ 6月27日（火）・28日（水） 大ホール（予定）

大会第1日目午前中と2日目午後のセッションでの口頭発表（10分発表+3分質疑応答）となります。

※申込が多数の場合は選抜制とし、一部は口頭発表ではなく、ポスター発表となることをご了承ください。

※発表時間は変更になる可能性がございますのでご了承ください。

④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人 腸内細菌学会事務局
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068
E-Mail アドレス jbf@ipecc-pub.co.jp
ホームページ <https://bifidus-fund.jp/>

⑤ その他

発表方法や時間などは採択後に発表者にご連絡します。なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

また、発表者の皆様には、ご発表に際し「利益相反（COI）」に関する開示をお願いいたします。発表スライドまたはポスター中にCOIの有無について公表してください。

企業に所属の場合は、別企業とCOI状態にある場合に開示してください。

当財団の「利益相反（COI）」開示方法については、「公益財団法人腸内細菌学会ホームページ」→「当財団について」→「利益相反（COI）について」をご参照ください。

(https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about_coi.pdf)

（公財）腸内細菌学会は特許庁による特許第30条第1項の規程にもとづく学術団体として指定を受けています。

学会スケジュール (予定)

6月27日 (火)

第1日

9:55～10:00 開会の挨拶 大会長 長谷 耕二 (慶應義塾大学)

10:00～12:00 若手ワークショップ 口頭発表 (小ホール)

ワークショップ 口頭発表 (大ホール)

※ワークショップの申込が多数の場合は、一部翌日28日(水)に行う予定です。

(12:00～13:00 昼食休憩)

13:00～13:50 特別講演 (大ホール)

竹田 潔 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター・医学系研究科)

「腸内細菌と宿主の相互作用機構」

13:55～14:05 研究奨励賞授賞式 (大ホール)

14:05～14:25 受賞講演 1

14:25～14:45 受賞講演 2

(休憩)

15:05～16:45 シンポジウム 1 (大ホール)

『新たなアプローチで読み解く宿主-微生物間相互作用』

細川 正人 (早稲田大学大学院先進理工学研究科/bitBiome 株式会社)

「ヒト共生・未培養微生物におけるシングルセルゲノム解析の活用法」

豊福 雅典 (筑波大学生命環境系)

「細菌の細胞外膜小胞を介した相互作用」

木村 俊介 (慶應義塾大学薬学部)

「腸内細菌が産生する微粒子と宿主細胞との相互作用機構」

西山 啓太 (東北大学大学院農学研究科)

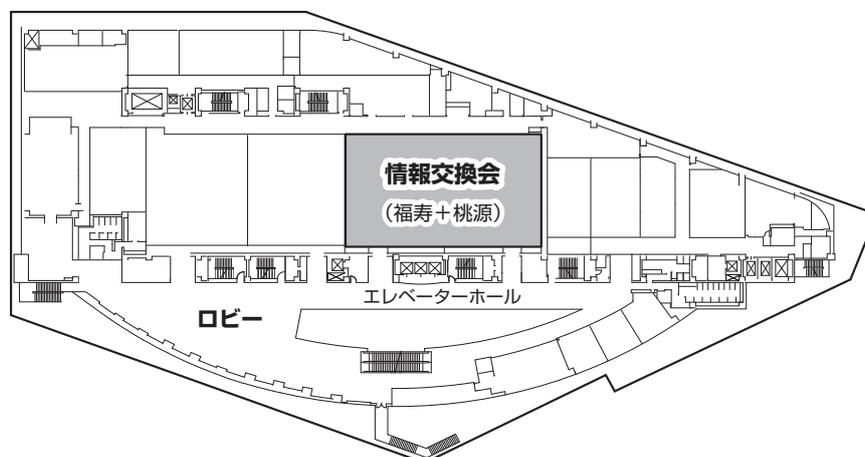
「細菌の共生関係から紐解く腸内細菌の消化管定着」

16:55～18:00 **ポスター発表**（1F 展示ホール）

午前の部に行ったショートプレゼンテーションのポスターを用いた
質疑応答タイム

18:10～19:40 **情報交換会（2F 福寿・桃源）**（予定）

皆様奮ってご参加ください。



第1日

6月27日

(火)

市民公開講座「腸活のすゝめ」

13:30～15:30（小ホール）（オンデマンド配信も予定）

國澤 純（医薬基盤・健康・栄養研究所）

「あなたのお腹は大丈夫？」

腸内環境から考えるあなたの健康未来」

内藤 裕二（京都府立医科大学）

「長寿コホート研究から見えてきた食と腸内細菌の関連」

司会：加藤 公敏（腸内細菌学会 理事）

学会スケジュール (予定)

6月28日 (水)

第2日

9:30 ~ 12:35

International symposium co-organized by AMED-CREST

“Microbiome” (大ホール)

The impacts of oral and intestinal microbiota in health and diseases

- Plenary lecture (60 min including Q&A)

Yasmine Belkaid (National Institute of Allergy and Infectious Diseases, NIAID)

“Multikingdom control of tissue immunity”

- Invited lecture (30 min×4, including Q&A)

Nobuhiko Kamada (University of Michigan / Osaka University IFRc)

“Pathogenic communications between the mouth and gut”

Hideyuki Tamaki (Advanced Industrial Science and Technology)

“Cultivation renaissance in the post-metagenomics era for human gut microbiome research”

Shinya Murakami (School & Graduate School of Dentistry Osaka University)

“Periodontal pathogens exacerbate hyperglycemia by altering gut microbiota”

Akihiro Okamoto (National Institute for Materials Science, NIMS)

“Native genetic barcode in bacterial membrane vesicle from the human microbiome”

(12:35 ~ 13:30 昼食休憩)

13:30 ~ 14:09 ワークショップ 発表 (大ホール)

14:10 ~ 14:40 BMFH セミナー (大ホール)

14:55～16:55 シンポジウム2 (大ホール)

『消化管マイクロバイオームの新たな役割』

一戸 猛志 (東京大学医科学研究所)

「腸内細菌とインフルエンザ」

金井 祐太 (大阪大学微生物病研究所)

「腸内環境の変動による下痢症ウイルス感染感受性の変化」

松木 隆広 (ヤクルト中央研究所)

「ビフィズス菌のオリゴ糖・植物由来多糖の利用と有機酸産生」

佐藤 尚子 (理化学研究所生命医科学研究センター)

「細菌により制御され免疫臓器として働く胃の役割」

16:55～17:00 閉会の辞

投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または腸内細菌学会・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同英文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。BMFH誌は2018年3月にSCIE (Science Citation Index Expanded) への掲載が決定しました。これによりBMFH誌にImpact Factorが付くこととなりました。2021年のImpact Factorは**3.000**に決まりました。

BMFH Journal Impact Factor 3.000



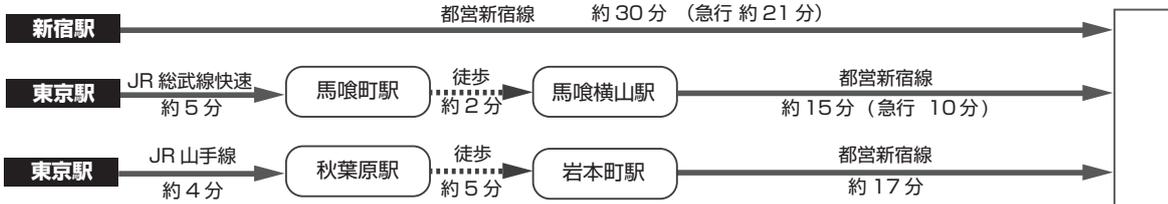
交通アクセス・マップ

タワーホール船堀

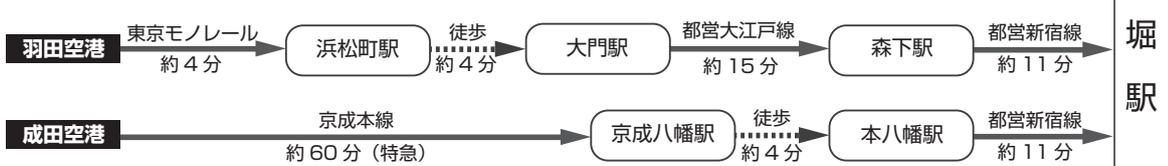
タワーホール船堀までのアクセス (東京都江戸川区船堀 4-1-1)

都営新宿線【船堀駅】より徒歩 約 1 分

● 電車をご利用の場合



● 空港から電車をご利用の場合



● 空港からバスをご利用の場合

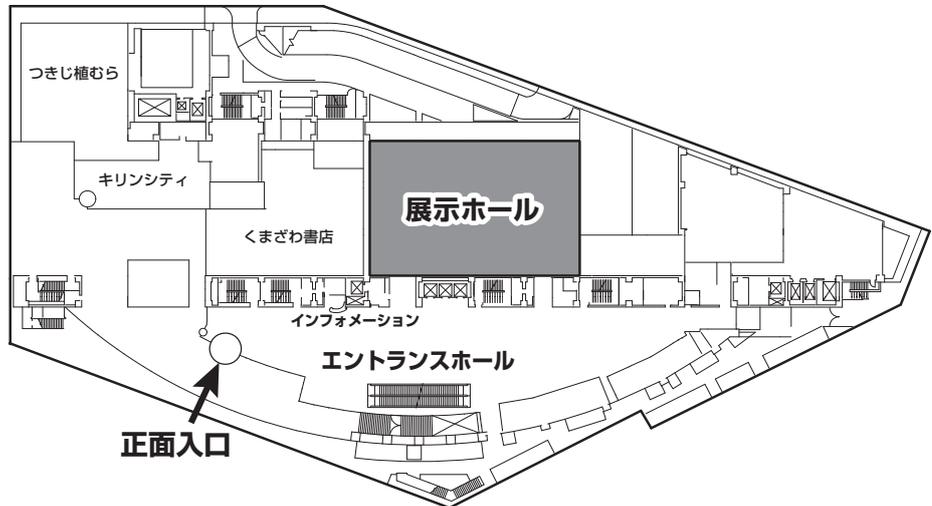


タワーホール船堀

会場案内図

1 F

- ・ポスター発表
- ・企業展示
- ・製品提供
- ・インターネットコーナー



5 F

- ・講演会場
- ・シンポジウム
- ・市民公開講座
- ・受付

